

1990年から続く一般の方を対象とした哲学入門講座です。
様々な角度から哲学・宗教・芸術・倫理などについて学びます。

2024年度 西田幾多郎

哲 学 講 座

回	日時	内容	講師
①	5月25日 [土] 午後1時30分	図書館社会教育の実践者・中田邦造 —西田哲学から受け継がれたもの—	石川県西田幾多郎記念哲学館館長 浅見 洋
②	6月22日 [土] 午後1時30分	立山信仰と立山曼荼羅の世界	北陸大学教授 福江 充
③	7月6日 [土] 午後1時30分	パスカル『パンセ』入門① —「自己愛」から「慈愛」へ—	大阪大学教授 山上 浩嗣
④	7月7日 [日] 午前10時	パスカル『パンセ』入門② —「考える葦」から「賭け」へ—	
⑤	10月26日 [土] 午後1時30分	現代に生きる西田哲学（1） 純粹経験：ありのままの現実	日本大学教授 櫻井 歆
⑥	10月27日 [日] 午前10時	現代に生きる西田哲学（2） 他者とともに生きる世界	
⑦	11月23日 [土・祝] 午後1時30分	手話はなぜ言語と言えるのか —言語学・心理学・脳科学の知見から— ※手話通訳があります	金沢大学教授 金沢大学教授 武居 渡 × 山本 英輔 (講演) (聞き手)
⑧	12月7日 [土] 午後1時30分	エマニュエル・レヴィナス入門 —ある〈脱出〉の哲学	金沢大学准教授 平石 晃樹
⑨	2025年3月1日 [土] 午後1時30分	西田幾多郎と木村素衛 —京都学派教育学の系譜—	立命館大学教授 西村 拓生
⑩	3月2日 [日] 午前10時	木村素衛の教育思想 —「一打の鑿」と「表現愛」—	



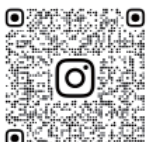
- 受講料** 1回:500円、年間:2,000円
- 会場** 石川県西田幾多郎記念哲学館 哲学ホール
- 申込方法** [各回受講] 申し込み不要です。直接会場へお越しください。
[年間受講] 申し込みは随時受け付けております。

住所・氏名(フリガナ)・電話番号を、電話・FAX・E-mailなどにて
下記までお申し込みのうえ、当日受付で受講料をお支払いください。
※講座が中止になった場合、年間受講料の返金はいたしかねますのでご了承ください。
※個人情報は、当館主催事業に関する目的以外には使用しません。

お問い合わせ

石川県
西田幾多郎記念哲学館
Ishikawa NISHIDA KITARO Museum of Philosophy

〒929-1126 石川県かほく市内日角 井1
TEL(076)283-6600 FAX(076)283-6320
E-mail: nishida-museum@city.kahoku.lg.jp
<https://www.nishidatetsugakukan.org/>



2024年度 西田幾多郎哲学講座
講師、各講座のご紹介

浅見 洋 石川県西田幾多郎記念哲学館館長、石川県立看護大学名誉教授

④ 5月25日 [土] 午後1時30分
図書館社会教育の実践者・中田邦造 —西田哲学から受け継がれたもの—

- 講座内容紹介
中田邦造は滋賀の生まれですが、京都帝国大学の西田幾多郎の下で学んだのが縁で石川県職員となりました。その後、石川県立図書館、東京都立日比谷図書館の館長を歴任し、青少年文庫、読書学級の創設など、図書館社会教育の実践者として近代日本の図書館発展に大きな影響を与えました。邦造の読書論の背景にあった西田哲学をひも解いてみます。
- 専門分野 西田哲学、日本思想史
■主な著書・論文
『西田幾多郎とキリスト教の対話』(朝文社)
『おふみさんに続け！女性哲学者のフロンティア—西田幾多郎の姪高橋ふみの生涯と思想—』(ポラーノ出版)

福江 充 北陸大学教授

② 6月22日 [土] 午後1時30分
立山信仰と立山曼荼羅の世界

- 講座内容紹介
越中国の立山は、白山・富士山とともに日本三霊山と呼ばれ、雄大な自然と古くからの地獄信仰によって多くの人々を惹きつけてきました。その信仰の世界、いわゆる「立山信仰」の世界を視覚的に表現した絵画が、立山曼荼羅です。その絵解きを通して、さらにこれまでの歴史学や宗教民俗学からの研究成果も交え、立山信仰の世界に迫ります。
- 専門分野 日本史学(近世・近代)、宗教民俗学、美術史、博物館学
■主な著書・論文
『立山曼荼羅—絵解きと信仰の世界—』(法蔵館)
『立山信仰と布橋大灌頂法会—加賀藩芦峠寺衆徒の宗教儀礼と立山曼荼羅—』(桂書房)

山上 浩嗣 大阪大学教授

③ 7月6日 [土] 午後1時30分
パスカル『パンセ』入門① —「自己愛」から「慈愛」へ—

④ 7月7日 [日] 午前10時
パスカル『パンセ』入門② —「考える葦」から「賭け」へ—

- 講座内容紹介
フランス17世紀の哲学者・パスカルの『パンセ』の大部分は、キリスト教の弁証を目的とした論考の草稿から成りますが、その人間論は宗教に無関心な現代人も強く惹きつけます。講演では、パスカルの生涯をたどり、よく知られた断章をじっくり解説してみましよう。その上で、パスカルが最重要の徳とみなしている「慈愛」と「希望」の内実に迫ります。
- 専門分野 フランス文学・思想
■主な著書・論文
『パスカルと身体的生』(大阪大学出版会)
『パスカル『パンセ』を楽しむ—名句案内40章』(講談社学術文庫)

櫻井 歓 日本大学教授

⑤ 10月26日 [土] 午後1時30分
現代に生きる西田哲学(1) 純粹経験：ありのままの現実

⑥ 10月27日 [日] 午前10時
現代に生きる西田哲学(2) 他者とともに生きる世界

- 講座内容紹介
西田哲学によって見える現実とはどのようなもののでしょうか。本講座では、第1回で前期の「純粹経験」、第2回では「私と汝」など中期以降の思想を扱いながら、身の回りの現実やこの世界について考えていきます。現代に生きる私たちが西田哲学によって考える。そのことによって西田哲学が現代に生きるとも言えるのではないのでしょうか。
- 専門分野 西田哲学、人間形成論
■主な著書・論文
『西田幾多郎—分断された世界を乗り越える』(講談社)
『西田幾多郎 世界のなかの私』(朝文社)

武居 渡 金沢大学教授(講演) × 山本 英輔 金沢大学教授(聞き手)

⑦ 11月23日 [土・祝] 午後1時30分 ※手話通訳があります
手話はなぜ言語と言えるのか—言語学・心理学・脳科学の知見から—

- 講座内容紹介
日本語は音声を使えない人が使う日本語の代替手段ではなく、独自の語彙や文法体系を持った日本語とは別の言語です。日本語が言語である以上、手話を使う人たちが作り上げてきた文化があります。なぜ日本語が言語であるといえるのか、手話の文化やエピソードを交えながら、様々な領域で研究されてきた知見を紹介します。
- 専門分野 武居：発達心理学、特別支援教育／山本：哲学、倫理学
■主な著書・論文
武居：『NHK みんなの手話 2017年7月～9月／2018年1～3月』(監修、NHK出版)
山本：『ハイデガー『哲学への寄与』研究』(法政大学出版局)

平石 晃樹 金沢大学准教授

⑧ 12月7日 [土] 午後1時30分
エマニュエル・レヴィナス入門—ある〈脱出〉の哲学

- 講座内容紹介
ロシア帝政末期のリトアニアに生まれたエマニュエル・レヴィナスは、大学進学を機にフランスに移り住み、やがてフランス語でじしんの哲学を練りあげ、世に問うてゆくこととなります。〈汝殺すなかれ〉と発する他人の〈顔〉について語るその思想は、20世紀の哲学に強いインパクトを与えました。この講座では、「脱出」をキーワードにレヴィナス哲学の要点を描き出したうえで、そのアクチュアリティを探り当ててみたいと思います。
- 専門分野 フランス哲学、教育哲学
■主な著書・論文
『レヴィナス読本』(共編著、法政大学出版局)
『個と普遍—レヴィナス哲学の新たな広がり』(共著、法政大学出版局)

西村 拓生 立命館大学教授

⑨ 2025年3月1日 [土] 午後1時30分
西田幾多郎と木村素衛—京都学派教育学の系譜—

⑩ 2025年3月2日 [日] 午前10時
木村素衛の教育思想—「一打の鑿」と「表現愛」—

- 講座内容紹介
木村素衛は、加賀の橋立に生まれ、京都大学で西田幾多郎に師事した教育学者です。もとは哲学・美学が専門でしたが、おそらく西田の勧めもあって、教育学に転身しました。二人の交流を起点とする京都学派の教育学について、とりわけ「表現愛」をキーワードとする木村の教育思想について考えます。
- 専門分野 教育人間学、教育哲学、教育思想史
■主な著書・論文
『美と教育』という謎—プリズムとしてのシラー『美育書簡』』(東京大学出版会)
『教育哲学の現場—物語りの此岸から』(東京大学出版会)